

# 行財政システム 再構築プラン

## 皆さんのご意見に対して 次のように考えています

### 目標数値

Q 素案全般に抽象的な内容が多く感じ、はつきりとした目標が見えてこない。今後、具体的な数値目標が盛り込まれるものと期待している。

A 町税の収納率や職員数など、できるだけ具体的な数値目標を盛り込むようにします。

### 委託業務は地元企業へ

Q 地域経済に寄与するために、町が委託発注する業務を地元企業が受注できるように検討すべきではないか。

今後の行政は、地元企業の育成を視野に入れながら業務を行うべき。

A 町が発注する業務の中には、浄水場や下水処理場運転管理業務など、高い技術や専門的知識を持った有資格者が必要なものがあり、このような業務につい

ては、現在、町内登録業者が無いものもあります。しかし、条件を満たせば、入札に参加することは出来ます。

なお、高度な技術が要求される業務以外では、町内企業にも委託しています。今までも建設工事関係の業務では、地元企業の育成に十分に配慮してきましたが、これからも引き続き、地元企業の育成に取り組んでいきたいと考えています。

### 施設使用料の見直し

Q 施設使用を何でも減免というのは、再考すべきではないか。

町はハードを提供し、使用者が使用料を負担するのが本来の姿と思う。

A 施設を使用するための経費を、すべて税金で賄うことは、特定のサービスを受ける人と受けない人の間で不公平が生じま



先月号では、プランの素案に対していただいた主な意見を紹介しましたが、紙面の都合もありすべての意見をお載せすることができませんでしたが、町では、パブリックコメントとして寄せられた意見を一つひとつ検討し、素案の修正作業を行い、第2段階とも言えるプランの原案が出来上がりました。

意見のすべてをプランに反映させることはできませんが、多くの意見は大変参考になり、今後、住民が主役のまちづくりを進めていきたいと考えています。

今月は、意見のいくつかを取り上げ、町の考え方をお知らせします。

すので、施設を使用する人には、それにふさわしい負担をお願いすることが必要です。

使用料については、料金は設定していても、免除の規定などで使用者の負担が実質されていないことが多く、現在、減免制度の見直しを検討しています。

### 老人医療費給付事業などの廃止

Q 行政サービスの見直しとして、老人医療費給付事業の廃止等があるが、基本的に同意しかねる。関係者の意見もよく聞いて検討すべきと考える。

A 町の老人医療費給付事業は、現在、住民税非課税世帯の68歳・69歳の方を対象に実施しています。

再構築プランでは、医療費補助から、病気を予防するための事業を重視する施策の展

開を図ることで健康増進につなげたいと考えています。そのため、平成17年7月診療分をもつて給付事業廃止を予定し、各種検診事業、体力増強事業などの取り組みを充実させます。

### ファミリーサポートセンター

Q 「ファミリーサポートセンター」事業の検討について、2年間となっているが、早急に実現して欲しい。

A 地域で育児を助け合い安心して子育てができるシステム「ファミリーサポートセンター」の検討を、平成17～18年度にかけて予定していましたが、検討期間を短縮し、平成17年度中に検討し、できるだけ早い時期に実施できるよう努力します。



**Q** 地域福祉計画の策定、介護保険事業計画の策定などが記載されているが、内容が漠然としている。

**A** 地域福祉計画は、これからの障がい者や高齢者対策、子育てなど当別町の福祉を総合的に推進するための計画です。

また、介護保険事業計画には、筋力向上トレーニング、口腔ケアなど新たなサービスの導入を検討します。

これらの内容をプランに追加記載します。

**職員給与の抑制**

**Q** 様々な手当の縮減等が記載されているが、人件費をもっと抑制すべき。

**A** これまでも、特別職の期末手当の削減や、一般職員の期末勤勉手当の削減、管理職手当の削減を行ってきておりますが、平成17年度も、更に削減することとし、プランに記載を追加します。



プラン策定検討会議から



が渡されました。

昨年9月に町内の団体代表者や有識者10名で設置された「行財政システム再構築プラン策定検討会議」（座長：廣重力北海道医療大学学長）は、2月までに6回の会議を開催し、再構築プランの検討を進めてきました。

会議では、委員からの意見やワークショップ、パブリックコメントなど様々な方法で集めた町民の意見を参考にして、プランに対する提言書が出来上がり、2月16日、泉亭町長に手渡されました。町ではこの提言書の趣旨や2月下旬に開催した住民説明会、3月議会の議論を踏まえて3月下旬に「当別町行財政システム再構築プラン」を完成させます。

提言内容の一部紹介

**基** 本方針の住民との協働について、これからは住民も役場も新しい考え方をして、協働のまちづくりをしていくことが必要となっている。協働の仕組み作りを進めるときには、協働とは何なのか考え方や内容が住民に分かるように取り組んでいく必要がある。

**実** 施計画の具体的取り組みについて、家庭系ごみの有料化を検討することとしているが、ごみ減量化対策と、応分の負担という観点から、早期の有料化に向けて検討を行う必要がある。

**重** 点施策に、当別駅前のレンガ倉庫を整備して文化創造と情報発信の拠点にする計画があるが、いつも人が集まって活発に利用されるよう住民と十分に検討してほしい。

**プ** ランには載っていないが、議会議員の定数や報酬の削減、農業委員の定数削減について、住民から意見が出ているし、策定検討会議でもたびたび意見が出たので、定数等を削減することを強く求める。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
その他、民間委託の促進や、小学校の統廃合、子育て支援センターの充実など、全部で11項目の提言が盛り込まれています。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
原案の内容やパブリックコメントの意見に対する町の考え方、提言書の詳しい内容は町ホームページでご覧ください。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
パブリックコメントの意見に対する町の考え方については、次の場所で開催配付をしています。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
**閲覧・配付場所** 役場企画部企画課・太美出張所・ゆとろ・公民館・総合体育館・西当別コミュニケーションセンター

〔企画部行財政改革担当 電話 233-2393〕